

1. 事業の概要: 令和7年度新規事業

4月 事業者公募  
5～6月 協力病院との事前調整  
(静岡済生会総合病院 療育小児科・小児科、  
静岡市立静岡病院 小児科、静岡市立清水病院 小児科)  
7月 事業開始

2. 実績

(1) 支援状況

① 支援件数

月	7月	8月	9月	10月	合計
実支援人数	22人	39人	37人	50人	148人
延支援件数	47件	88件	74件	102件	311件

② 支援件数の内訳

対応項目	7月	8月	9月	10月	合計
①聴き取り(保護者)	23件	23件	26件	38件	110件
②聴き取り(関係機関)	0件	6件	3件	1件	10件
③心理検査の実施	23件	31件	32件	40件	126件
④こども用説明	0件	5件	1件	5件	11件
⑤保護者への説明	1件	18件	12件	17件	48件
⑥関係者支援	0件	5件	0件	1件	6件
合計	47件	88件	74件	102件	311件

③ 支援件数の内訳(複数回答可)

項目	7月	8月	9月	10月	合計
1.知的面／学習面の問題	13件	24件	22件	40件	99件
2.行動面の問題	14件	21件	19件	26件	80件
3.情緒面の問題	2件	2件	5件	15件	24件
4.家庭での問題	1件	1件	2件	8件	12件
5.その他	3件	11件	7件	5件	26件

(3) 事業に対する評価について

① 保護者より

- ・検査に時間がかかると聞いていたが、早くできてよかった。
- ・検査の説明や事前の聞き取りに時間をかけてもらったので、自分の疑問や悩みを解消することができた。
- ・自分(保護者)で学校などに検査結果を伝えることが難しいので、直接説明してもらえるため、ありがたい。

② 協力病院より

- ・発達や知的側面の評価を専門的に実施していただくことで、診断の精度が向上し、保護者への説明や今後の支援方針をより明確に立案できるようになった。
- ・保護者が心理士による丁寧なフィードバックを受けることで、発達特性に対する理解が深まり、不安軽減や療育・受診継続への意欲向上につながっている。
- ・病院内に事業実施の心理士がいることで、情報共有がしやすく、相談できる体制となっている。

③ 受託者より

- ・”学校で困っている“、”勉強ができない“といった漠然とした主訴や知的な能力の問題に主眼が置かれた主訴に対する丁寧な確認とアセスメントで、こどもの  
・”指示に注意を向ける力が弱い“などの特性  
・”自己肯定感が低い“といった情緒面の課題を確認することができ、よりこどもにあった支援策を提示することができている。
- ・各病院内で実施することで、診療や服薬といった医療的な側面と、診療報酬に関わらず本人に必要な心理検査等の支援ができる側面の双方を活かすことができる。

(4) 今後の取組

- ・協力病院との意見交換を実施予定  
※事業の周知・理解促進や、発達の気になるこどもの診療にかかわることの意見交換などを想定